

報道関係者各位

フツパー、富士通の防衛装備庁委託研究における共創パートナーとして決定

～ 製造業AI技術を、防衛領域の意思決定支援システム開発に応用 ～

株式会社フツパー（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長CEO：大西 洋、以下「当社」）は、富士通株式会社（以下「富士通」）が防衛装備庁 防衛イノベーション科学技術研究所より受注した委託研究「令和7年度 意思決定迅速化実験装置の研究試作に基づく防衛用マルチAIエージェントによるAI幕僚能力獲得の研究」において、共創パートナーとして決定いたしました。



富士通の防衛装備庁委託研究における 共創パートナーとして決定

製造業AI技術を、防衛領域の意思決定支援システム開発に応用

■ 本件の背景

本共創は、富士通が防衛装備庁 防衛イノベーション科学技術研究所より受注した委託研究において、日本初となる富士通の防衛分野でのオープンイノベーションプログラム「Fujitsu Accelerator Program for Defense Tech」を通じて、非防衛産業分野のスタートアップ・企業が持つ先端技術や革新的なアイデアを、防衛領域における新たな価値創造につなげることを目的としています。

当社は本プログラムの共創パートナーとして、富士通と共同で、複数のAIエージェントが連携・対話しながら多角的な分析を行う「マルチAIエージェント」技術によって、指揮官の意思決定を支援する能力の獲得を目指します。



(写真左端より) フツパー、杉山 琢哉、今井 亮太、北岡 真稀

(写真右端より) 富士通 松尾 圭祐 氏 ほか 2 名

■ 研究内容について

本プログラムは、AI・情報通信などの先端デジタル技術によって指揮統制の高度化を図り、データを戦略アセットとして活用するサイクルを構築するべく、国内スタートアップの技術を積極的に取り込み、防衛分野における社会実装モデルの確立を目的としています。

当社が担う開発テーマは、複数のAIエージェントにそれぞれ役割を与え、各々の役割で業務を遂行させ、その結果を持ち寄って一体のシステムとして機能させることで、意思決定の迅速化・高度化に資する「マルチAIエージェント技術」です。

既存技術の応用ではなく新技術の研究・発掘を、設計に基づく開発ではなく試行錯誤による仮説検証を通じて進める、共創型の研究に取り組みます。当社は、製造業の現場AI実装で培ってきた「AIエージェント技術」と「情報構造化技術」をもって、この研究に貢献してまいります。

当社は「Fujitsu Accelerator Program for Defense Tech」のもと、2026年10月からの本研究開始を予定しており、2028年3月までを見込んでいます。

■ 株式会社フツパーについて

当社は「最新テクノロジーを確かな労働力に」をミッションに掲げ、製造業を中心とした現場のAI実装を支援するスタートアップです。外観検査AI「メキキバイト」、人員配置最適化AI「スキルパズル」、ローカルLLM「ラクラグ」、研究開発向けAIエージェント「リアラボAI」、受託AI開発「カスタムHutzper AI」、現場向け安全管理AI「OwloX」を提供しており、製造業出身者を中心とした現場主義の開発・伴走支援を強みとしています。2025年に東証グロース市場へ上場（証券コード：478A）。

会社名	株式会社フツパー（Hutzper Inc.）
代表者	代表取締役社長CEO 大西 洋
所在地	大阪府大阪市淀川区西中島 1 丁目11番16号 新大阪CSPビル北館 4 階
設立	2020年 4 月 1 日
証券コード	東京証券取引所 グロース市場（証券コード：478A）
事業内容	製造業を中心とした現場向けAIソリューションの開発・提供
URL	https://hutzper.com/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社フツパー IR担当：岩岡

E-mail：ir@hutzper.com